



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社九州フィナンシャルグループ 上場取引所 東・福
 コード番号 7180 URL <http://www.kyushu-fg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 慶久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画部長 (氏名) 徳永 忠隆 (TEL) 096-326-5588
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月19日 特定取引勘定設置の有無 有
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明資料を当社ホームページに掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	172,140	1.0	27,033	△19.8	18,261	△17.7
2019年3月期	170,322	3.4	33,717	14.7	22,202	14.4

(注) 包括利益 2020年3月期 △20,805百万円(-%) 2019年3月期 27,012百万円(12.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	40.70	—	2.8	0.2	15.7
2019年3月期	49.12	—	3.4	0.3	19.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	11,079,796	619,754	5.5	1,404.71
2019年3月期	10,444,589	652,317	6.2	1,436.34

(参考) 自己資本 2020年3月期 617,951百万円 2019年3月期 648,529百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	195,306	△222,741	△11,805	1,169,723
2019年3月期	△32,408	325,890	△8,243	1,208,955

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	5,418	24.4	0.8
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	5,348	29.4	0.8
2021年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00		35.8	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	86,300	2.0	11,300	△30.5	7,700	△31.0	円 銭 17.16
通 期	171,400	△0.4	24,400	△9.7	15,000	△17.8	円 銭 33.43

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	463,375,978株	2019年3月期	463,375,978株
② 期末自己株式数	2020年3月期	23,464,212株	2019年3月期	11,862,526株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	448,630,718株	2019年3月期	451,921,798株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,386	2.7	5,340	0.9	5,454	3.2	5,440	3.9
2019年3月期	7,188	△26.8	5,289	△36.2	5,284	△36.3	5,231	△37.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	12.12		—					
2019年3月期	11.57		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	459,129	448,151	448,151	448,151	97.6	1,018.73	1,018.73	
2019年3月期	457,145	453,629	453,629	453,629	99.2	1,004.68	1,004.68	

(参考) 自己資本 2020年3月期 448,151百万円 2019年3月期 453,629百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 3
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 連結貸借対照表	P. 4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 6
連結損益計算書	P. 6
連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 14
(重要な後発事象)	P. 14
4. 個別財務諸表	P. 15
(1) 貸借対照表	P. 15
(2) 損益計算書	P. 17
(3) 株主資本等変動計算書	P. 18
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 18
5. 役員の異動	P. 18
(1) 代表取締役の異動	P. 18
(2) その他役員の異動	P. 18

(別添資料)

2019年度 決算説明資料

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)のわが国経済は、雇用情勢が改善する中、企業収益は高水準で推移し、消費増税後の個人消費も比較的堅調に推移しました。また、住宅投資は弱含んだものの、設備投資は緩やかな増加傾向が続き、公共投資は底堅く推移しました。一方、米中貿易摩擦の影響で海外経済に減速の動きがみられ生産や輸出は弱含みました。総じてみると、緩やかな回復が続いていましたが、年度末にかけて新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、急速に落ち込みました。

こうした経済環境のもと、日経平均株価は、米中貿易協議の再開への期待やFRBなどの金融緩和政策を受け、24,000円台まで回復しましたが、新型コロナウイルスの影響から、年度末にかけて一時16,000円台まで大幅に下落しました。円相場は、期初は1ドル110円台で推移していましたが、新型コロナウイルスの影響で、一時1ドル101円台まで上昇するなど、円高ドル安が進みました。

地元経済におきましては、生産活動や消費関連の一部で弱含みましたが、雇用情勢が堅調に推移し、全体として緩やかな回復傾向となりました。観光関連はラグビーワールドカップ等の明るい材料もあったものの、日韓関係悪化の影響や、鹿児島県で2018年のNHK大河ドラマ「西郷どん」放映効果の反動減により、弱い動きがみられました。投資関連では、再開案件を中心に民間投資が高水準で推移していますが、熊本県においては災害復旧関連投資が徐々に減少しています。年度末にかけては新型コロナウイルスの影響が様々な業種に及んでおり、地元経済は急速に弱まっております。

このような金融経済環境のもと、当連結会計年度の経営成績につきましては、経常収益は、国債等債券売却益の増加及び子会社の取得によるその他業務収益の増加等により、前連結会計年度比18億17百万円増加し1,721億40百万円となりました。

一方、経常費用は、株式等償却の増加によるその他経常費用の増加等により、前連結会計年度比85億2百万円増加し1,451億6百万円となりました。

この結果、経常利益は前連結会計年度比66億84百万円減少し270億33百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比39億41百万円減少し182億61百万円となりました。

(セグメント別の概況)

a. 銀行業

経常収益は前連結会計年度比18億35百万円減少し1,390億42百万円となり、セグメント利益は前連結会計年度比8億12百万円減少し347億75百万円となりました。

b. リース業

経常収益は前連結会計年度比24億23百万円増加し329億34百万円となり、セグメント利益は前連結会計年度比2億46百万円減少し13億49百万円となりました。

c. その他

経常収益は前連結会計年度比76百万円増加し93億60百万円となり、セグメント利益は前連結会計年度比35百万円減少し10億90百万円となりました。

(2) 財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比6,352億円増加し11兆797億円となり、純資産は前連結会計年度末比325億円減少し6,197億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比2,442億円増加し8兆5,590億円、譲渡性預金は前連結会計年度末比454億円減少し2,072億円となりました。

貸出金は前連結会計年度末比3,337億円増加し7兆1,869億円となりました。

有価証券は前連結会計年度末比2,040億円増加し2兆2,169億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、預金の増加等により1,953億6百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出等により2,227億41百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出及び配当金の支払等により118億5百万円のマイナスとなりました。

以上により、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、1兆1,697億23百万円となりました。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内経済は先行きの見通しが立て難く、雇用・物価とも減退基調が顕在化する中、世界経済の見通しも同様に不確定要素が高まっております。

以上のような環境下で、2021年3月期の業績予想につきましては、連結ベースで経常収益1,714億円、経常利益244億円、親会社株主に帰属する当期純利益150億円をそれぞれ予想しております。

2021年3月期の業績予想につきましては、以下の指標数値(2021年3月末)を予想し、算出の前提としております。

- ・無担O/N : $\Delta 0.050\%$
- ・短期プライムレート : 1.975%
- ・日経平均株価 : 20,000~22,000円

上記業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響も含め現時点で入手可能な情報を前提に算出しておりますが、新型コロナウイルス感染症のお取引先等への影響の拡大など様々な要因により変動する可能性があります。今後、業績予想の変更が必要な場合には速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの主業務である銀行業は、日本国内に限定されていることから、当面は日本基準を採用することとしております。今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)適用動向を踏まえつつ、IFRS適用の必要性について検討を進めてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	1,211,471	1,173,509
コールローン及び買入手形	314	388
買入金銭債権	10,557	14,542
特定取引資産	1,183	876
金銭の信託	18,621	18,746
有価証券	2,012,855	2,216,941
貸出金	6,853,138	7,186,901
外国為替	12,419	13,273
リース債権及びリース投資資産	52,606	67,150
その他資産	191,314	285,610
有形固定資産	98,306	108,885
建物	27,728	34,365
土地	50,494	50,185
建設仮勘定	9,268	12,925
その他の有形固定資産	10,815	11,409
無形固定資産	9,317	11,011
ソフトウェア	9,002	10,754
その他の無形固定資産	315	256
退職給付に係る資産	5,857	4,681
繰延税金資産	972	9,301
支払承諾見返	33,893	35,927
貸倒引当金	△68,241	△67,950
資産の部合計	10,444,589	11,079,796
負債の部		
預金	8,314,830	8,559,052
譲渡性預金	252,727	207,269
コールマネー及び売渡手形	—	12,733
売現先勘定	207,630	232,754
債券貸借取引受入担保金	479,347	647,317
特定取引負債	—	11
借入金	402,402	594,946
外国為替	172	82
信託勘定借	—	2,586
その他負債	81,540	158,278
退職給付に係る負債	2,785	2,437
睡眠預金払戻損失引当金	2,267	2,101
偶発損失引当金	484	473
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	10,114	37
再評価に係る繰延税金負債	4,076	4,028
支払承諾	33,893	35,927
負債の部合計	9,792,272	10,460,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
資本金	36,000	36,000
資本剰余金	198,362	199,636
利益剰余金	366,087	379,006
自己株式	△5,270	△10,771
株主資本合計	595,178	603,871
その他有価証券評価差額金	58,987	74,783
繰延ヘッジ損益	△7,915	△61,458
土地再評価差額金	5,855	5,779
退職給付に係る調整累計額	△3,575	△5,024
その他の包括利益累計額合計	53,350	14,080
非支配株主持分	3,788	1,803
純資産の部合計	652,317	619,754
負債及び純資産の部合計	10,444,589	11,079,796

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	170,322	172,140
資金運用収益	98,120	98,654
貸出金利息	70,254	71,302
有価証券利息配当金	27,446	26,941
コールローン利息及び買入手形利息	△12	△32
預け金利息	76	1
その他の受入利息	354	440
信託報酬	—	41
役務取引等収益	21,661	21,284
特定取引収益	827	474
その他業務収益	41,002	45,947
その他経常収益	8,710	5,737
償却債権取立益	57	21
その他の経常収益	8,652	5,716
経常費用	136,604	145,106
資金調達費用	7,760	11,834
預金利息	863	749
譲渡性預金利息	41	38
コールマネー利息及び売渡手形利息	△3	50
売現先利息	1,451	3,058
債券貸借取引支払利息	2,570	4,451
借用金利息	467	621
その他の支払利息	2,369	2,862
役務取引等費用	8,132	8,612
その他業務費用	36,658	34,227
営業経費	75,645	76,686
その他経常費用	8,406	13,745
貸倒引当金繰入額	3,809	1,208
その他の経常費用	4,597	12,537
経常利益	33,717	27,033
特別利益	115	398
固定資産処分益	115	398
特別損失	466	620
固定資産処分損	374	501
減損損失	92	118
その他の特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益	33,366	26,810
法人税、住民税及び事業税	12,185	10,177
法人税等調整額	△1,484	△1,755
法人税等合計	10,701	8,421
当期純利益	22,665	18,389
非支配株主に帰属する当期純利益	462	127
親会社株主に帰属する当期純利益	22,202	18,261

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	22,665	18,389
その他の包括利益	4,347	△39,194
その他有価証券評価差額金	10,708	15,796
繰延ヘッジ損益	△6,039	△53,542
退職給付に係る調整額	△321	△1,449
包括利益	27,012	△20,805
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	26,574	△20,933
非支配株主に係る包括利益	438	127

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,000	194,112	349,103	△3,601	575,613
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		4,249			4,249
剰余金の配当			△5,436		△5,436
親会社株主に帰属する当期純利益			22,202		22,202
自己株式の取得				△1,668	△1,668
自己株式の処分		△0		0	0
土地再評価差額金の取崩			217		217
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,249	16,984	△1,668	19,564
当期末残高	36,000	198,362	366,087	△5,270	595,178

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	48,255	△1,876	6,072	△3,254	49,196	8,737	633,548
当期変動額							
連結子会社株式の取得による持分の増減							4,249
剰余金の配当							△5,436
親会社株主に帰属する当期純利益							22,202
自己株式の取得							△1,668
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							217
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,731	△6,039	△217	△321	4,154	△4,949	△795
当期変動額合計	10,731	△6,039	△217	△321	4,154	△4,949	18,769
当期末残高	58,987	△7,915	5,855	△3,575	53,350	3,788	652,317

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,000	198,362	366,087	△5,270	595,178
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		1,273			1,273
剰余金の配当			△5,418		△5,418
親会社株主に帰属する当期純利益			18,261		18,261
自己株式の取得				△5,500	△5,500
土地再評価差額金の取崩			75		75
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1,273	12,918	△5,500	8,692
当期末残高	36,000	199,636	379,006	△10,771	603,871

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	58,987	△7,915	5,855	△3,575	53,350	3,788	652,317
当期変動額							
連結子会社株式の取得による持分の増減							1,273
剰余金の配当							△5,418
親会社株主に帰属する当期純利益							18,261
自己株式の取得							△5,500
土地再評価差額金の取崩							75
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	15,796	△53,542	△75	△1,449	△39,269	△1,985	△41,254
当期変動額合計	15,796	△53,542	△75	△1,449	△39,269	△1,985	△32,562
当期末残高	74,783	△61,458	5,779	△5,024	14,080	1,803	619,754

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	33,366	26,810
減価償却費	7,212	7,421
減損損失	92	118
のれん償却額	—	935
貸倒引当金の増減(△)	2,151	△374
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	294	1,176
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	△406
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	51	△165
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	△4	△10
資金運用収益	△98,120	△98,654
資金調達費用	7,760	11,834
有価証券関係損益(△)	△4,300	93
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	164	125
為替差損益(△は益)	701	△434
固定資産処分損益(△は益)	259	103
特定取引資産の純増(△)減	2,243	306
貸出金の純増(△)減	△406,939	△333,762
預金の純増減(△)	△30,805	244,222
譲渡性預金の純増減(△)	25,368	△45,457
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	103,242	175,897
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	183	△24
コールローン等の純増(△)減	40,816	477
コールマネー等の純増減(△)	—	12,733
売現先勘定の純増減(△)	46,172	25,124
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	173,384	167,970
外国為替(資産)の純増(△)減	1,967	△853
外国為替(負債)の純増減(△)	49	△90
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△1,268	△4,405
金融商品等差入担保金の純増(△)減	△5,033	△79,779
信託勘定借の純増減(△)	—	2,586
資金運用による収入	100,368	101,516
資金調達による支出	△7,718	△10,648
その他	△14,004	3,521
小計	△22,367	207,910
法人税等の支払額	△10,040	△12,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,408	195,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,744,197	△1,676,373
有価証券の売却による収入	482,494	278,355
有価証券の償還による収入	1,600,974	1,196,256
金銭の信託の増加による支出	△14,239	△8,450
金銭の信託の減少による収入	13,303	8,102
有形固定資産の取得による支出	△10,196	△14,592
有形固定資産の売却による収入	566	524
無形固定資産の取得による支出	△2,814	△5,163
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	—	△1,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	325,890	△222,741
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,668	△5,500
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△5,436	△5,418
非支配株主への配当金の支払額	△4	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△1,134	△886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,243	△11,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	285,249	△39,231
現金及び現金同等物の期首残高	923,705	1,208,955
現金及び現金同等物の期末残高	1,208,955	1,169,723

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスを提供しており、「銀行業」及び「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、為替業務、証券業務等を行っており、「リース業」は、リース・貸付業務等を行っております。

なお、当連結会計年度に取得した、J R九州F Gリース株式会社のリース・貸付業務等を「リース業」に含めております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業			リース業	計				
	肥後銀行	鹿児島銀行	小計						
経常収益									
外部顧客に対する経常収益	75,173	64,288	139,461	28,829	168,290	5,006	173,297	△2,974	170,322
セグメント間の内部経常収益	485	931	1,416	1,681	3,098	4,277	7,375	△7,375	—
計	75,658	65,219	140,878	30,510	171,388	9,284	180,672	△10,350	170,322
セグメント利益	18,170	17,418	35,588	1,596	37,185	1,125	38,310	△4,592	33,717
セグメント資産	5,830,251	4,576,181	10,406,433	85,735	10,492,168	33,694	10,525,863	△81,273	10,444,589
その他の項目									
減価償却費	3,838	2,746	6,585	93	6,678	371	7,050	161	7,212
資金運用収益	52,412	48,434	100,846	59	100,906	208	101,114	△2,994	98,120
資金調達費用	5,845	1,961	7,807	236	8,043	39	8,083	△322	7,760
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,780	7,706	10,487	117	10,604	106	10,711	2,417	13,128

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業務等であります。

3 調整額の主なものは次のとおりであります。

①外部顧客に対する経常収益の調整額△2,974百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△2,979百万円等が含まれております。

②セグメント利益の調整額△4,592百万円には、パーチェス法に伴う利益調整額△3,766百万円等が含まれております。

③セグメント資産、その他の項目のうち資金調達費用の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

④その他の項目のうち資金運用収益の調整額△2,994百万円には、パーチェス法に伴う資金運用収益調整額△2,161百万円等が含まれております。

⑤その他の項目のうち減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、連結上「有形固定資産」及び「無形固定資産」となるリース投資資産に係る調整額等であります。

4 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業			リース業	計				
	肥後銀行	鹿児島銀行	小計						
経常収益									
外部顧客に対する 経常収益	74,098	63,327	137,426	31,184	168,610	5,324	173,935	△1,794	172,140
セグメント間の 内部経常収益	534	1,081	1,616	1,749	3,366	4,036	7,402	△7,402	—
計	74,633	64,408	139,042	32,934	171,976	9,360	181,337	△9,197	172,140
セグメント利益	18,559	16,216	34,775	1,349	36,125	1,090	37,215	△10,182	27,033
セグメント資産	6,018,601	5,027,719	11,046,321	105,593	11,151,915	31,696	11,183,611	△103,814	11,079,796
その他の項目									
減価償却費	3,833	2,970	6,803	118	6,921	333	7,255	165	7,421
資金運用収益	52,442	48,238	100,680	110	100,791	180	100,971	△2,317	98,654
資金調達費用	8,507	3,381	11,889	280	12,169	40	12,210	△376	11,834
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	6,260	11,655	17,916	117	18,033	291	18,324	1,642	19,967

- (注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業務等であります。
- 3 調整額の主なものは次のとおりであります。
- ①外部顧客に対する経常収益の調整額△1,794百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△1,865百万円等が含まれております。
- ②セグメント利益の調整額△10,182百万円には、パーチェス法に伴う利益調整額△8,514百万円及びのれんの償却額△935百万円等が含まれております。
- ③セグメント資産、その他の項目のうち資金調達費用の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
- ④その他の項目のうち資金運用収益の調整額△2,317百万円には、パーチェス法に伴う資金運用収益調整額△1,421百万円等が含まれております。
- ⑤その他の項目のうち減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメントに配分していない減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額等であります。
- 4 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,436円34銭	1,404円71銭
1株当たり当期純利益	49円12銭	40円70銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
1株当たり純資産額			
純資産の部の合計額	百万円	652,317	619,754
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	3,788	1,803
(うち非支配株主持分)	百万円	(3,788)	(1,803)
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	648,529	617,951
1株当たり純資産額の算定に 用いられた期末の普通株式の数	千株	451,513	439,911

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	22,202	18,261
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	22,202	18,261
普通株式の期中平均株式数	千株	451,921	448,630

3 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,044	1,296
未収還付法人税等	1,110	1,101
未収還付消費税等	—	222
前払費用	5	26
その他	46	34
流動資産合計	2,205	2,680
固定資産		
有形固定資産		
建物	3	3,228
器具及び備品	45	134
土地	1,448	1,448
リース資産	3	3
建設仮勘定	2,848	1,024
有形固定資産合計	4,350	5,838
無形固定資産		
ソフトウェア	106	94
無形固定資産合計	106	94
投資その他の資産		
投資有価証券	—	14
関係会社株式	450,458	450,458
その他	24	24
投資その他の資産合計	450,482	450,497
固定資産合計	454,939	456,431
繰延資産		
開発費	—	17
繰延資産合計	—	17
資産の部合計	457,145	459,129
負債の部		
流動負債		
短期借入金	3,400	7,100
未払金	0	0
未払費用	11	11
未払配当金	47	45
未払法人税等	14	21
未払消費税等	36	—
預り金	—	0
流動負債合計	3,510	7,179
固定負債		
長期借入金	—	3,705
リース債務	4	3
その他	0	89
固定負債合計	5	3,798
負債の部合計	3,515	10,977

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,000	36,000
資本剰余金		
資本準備金	9,000	9,000
その他資本剰余金	406,051	406,051
資本剰余金合計	415,051	415,051
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	7,848	7,871
利益剰余金合計	7,848	7,871
自己株式	△5,270	△10,771
株主資本合計	453,629	448,151
純資産の部合計	453,629	448,151
負債及び純資産の部合計	457,145	459,129

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益		
関係会社受取配当金	5,436	5,418
関係会社受入手数料	1,752	1,968
営業収益合計	7,188	7,386
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,899	2,045
営業費用合計	1,899	2,045
営業利益	5,289	5,340
営業外収益		
受取利息	0	0
雑収入	4	139
営業外収益合計	4	139
営業外費用		
支払利息	9	25
雑損失	0	—
営業外費用合計	9	25
経常利益	5,284	5,454
税引前当期純利益	5,284	5,454
法人税、住民税及び事業税	5	13
法人税等調整額	47	—
法人税等合計	53	13
当期純利益	5,231	5,440

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	36,000	9,000	406,051	415,051	8,053	8,053	△3,601	455,502	455,502
当期変動額									
剰余金の配当					△5,436	△5,436		△5,436	△5,436
当期純利益					5,231	5,231		5,231	5,231
自己株式の取得							△1,668	△1,668	△1,668
自己株式の処分			△0	△0			0	0	0
当期変動額合計	-	-	△0	△0	△204	△204	△1,668	△1,873	△1,873
当期末残高	36,000	9,000	406,051	415,051	7,848	7,848	△5,270	453,629	453,629

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	36,000	9,000	406,051	415,051	7,848	7,848	△5,270	453,629	453,629
当期変動額									
剰余金の配当					△5,418	△5,418		△5,418	△5,418
当期純利益					5,440	5,440		5,440	5,440
自己株式の取得							△5,500	△5,500	△5,500
当期変動額合計	-	-	-	-	22	22	△5,500	△5,477	△5,477
当期末残高	36,000	9,000	406,051	415,051	7,871	7,871	△10,771	448,151	448,151

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5. 役員の異動

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他役員の異動

その他役員の異動につきましては、2020年2月26日公表の「当社ならびに当社子会社の役員異動について」をご参照ください。